

議 事 概 要	
会議の名称	令和 7 年度第 1 回長久手市予防接種健康被害調査委員会
開催日時	令和 7 年 11 月 13 日（木）午後 4 時 00 分から午後 4 時 45 分まで
開催場所	長久手市保健センター 3 階会議室
出席者氏名 （敬称略）	6 名中 6 名出席 委員長 伊藤 嘉規 委員 渡邊 秀人 委員 坂口 陽子 委員 浅井 昭雅 委員 長尾 一寛 委員 森本 翔太 （事務局） 福祉部長、健康推進課長、同課成人保健係長、同主事 子ども部子ども家庭課長、同課母子保健係長、同主任、同保健師
欠席者氏名（敬称略）	なし
会議の公開・非公開	一部非公開
傍聴者人数	1 人
審議の概要	(1) 委員長の互選及び職務代理者の指名（公開） (2) 成人の予防接種について（公開） (3) 子どもの予防接種について（公開） (4) 予防接種の間違い報告について（公開） (5) 予防接種健康被害調査状況について（非公開）
問合先	長久手市福祉部健康推進課 電話 0561-63-3300
備考	
議 事 録	
1 挨拶 福祉部長から 委員自己紹介 事務局自己紹介 2 議題 議題 1 委員長の互選及び職務代理者の指名 委員互選により、伊藤 嘉規委員が委員長となり、委員長指名により、坂口 陽子委員が職務代理者となる。 委員長挨拶 伊藤委員長から 議題 2 成人の予防接種について 事務局説明 資料 1、2 に基づいて説明	

質疑応答・意見等

委員：スライド9について。带状疱疹のワクチンについて、生ワクチンは2,500円、組み換えワクチンは1回7,000円で2回接種とすると14,000円となり、自己負担の金額にかなり差があるが、対象者は自身でどちらの接種を受けるか選択できるのか。また、効果について、1回の接種で済む生ワクチンの方が強いという解釈になるのか説明いただきたい。

事務局：2種類のワクチンについては、どちらを接種するかは指定しておらず、接種希望者が自身で主治医と相談のうえで選択することとなっている。また、効果については、組み換えワクチンのシングリックスの方が高いとされており、10年以上効果が持続するという研究結果が出ている。こういった情報を接種希望者がわかるように市のホームページや市民の皆様が手に取るものに記載して用意をしているため、確認のうえ決めていただくこととしている。

シングリックスの定期接種は1回につき自己負担7,000円、任意接種の場合は1回22,000円程度としている医療機関が多いが、任意接種助成の実績ではほとんどの方がシングリックスを選択していた。定期接種においては、生ワクチンは2,500円の自己負担で接種ができ、1回で接種完了となることから、生ワクチンを選択する人も一定数出てきていると考えている。

委員長：ありがとうございます。少し補足をさせていただくと、生ワクチンと組み換えワクチン、いわゆるシングリックスとの効果の比較では、先ほどの事務局からの説明にあったように一般的にシングリックスは10年、生ワクチンは5年程度と考えるのが妥当かと思う。また、抗体の上昇率についても、シングリックスの方が抗体の効果が出る割合が高いという報告がされている。もう1点、生ワクチンは、いわゆる免疫抑制等の治療を受けているような方は接種ができないため、そのあたりも1つの選択材料となっていると考える。金額のこともあるが、特に生ワクチンの選択については、そういった方は注意が必要ということをお伝えしておきたい。

議題3 子どもの予防接種について

議題4 予防接種の間違い報告について

事務局説明

資料1、2に基づいて説明

質疑応答・意見等

なし

委員長：ここで意見や質問があったことについて、今後に活かしていくようお願いします。

事務局：皆様からいただいた貴重なご意見について、今後の長久手市の予防接種事業に活かしていきたいと思う。

(傍聴者退室)

議題5 予防接種健康被害調査状況について

(非公開議題のため、議事録についても非公開とする。)

委員長：他に質疑がないようであれば議事を終了する。

(午後4時45分終了)